



福島県いわき市立玉川中学校

学校だより

たまがわ 6

発行責任者 校長 丹野 英雄

第6号 令和6年9月17日発行

【校章の由来】

中央の円は玉川地区の和と円満さを、縦の2本線は学区内を流れる2つの川を表しています。清い川の流れの水しぶきを受け、発する玉中を象徴するデザインになっています。

さる9月5日(木)秋晴れの空のもと、21世紀の森周辺駅伝コースで、いわき市中学校駅伝競走大会が行われました。男子は6区間、女子は5区間で襷をつなぎました。お互いに切磋琢磨しながら深い絆で結ばれた部員たち。仲間の思いを託された選手たちは、持てる力を存分に発揮し若さみなぎる熱いレースを展開しました。男女駅伝部の部員たちは、目標を掲げ前向きに取り組む大切さを玉川中の全生徒に教えてくれたと思います。ありがとう。そして、お疲れさま。

さて、2学期は、生徒が主体となって活動する場面を意図的に数多く設定してあります。若葉祭をはじめ生徒自らが企画・運営に携わり、喜びややりがいを感じる経験を通して積極性や主体性を育てていきたいと考えています。今年度は感染症等の拡大がない限り開会式から全ての発表を制限なく観覧いただく計画しております。また、3年生は明日18日(水)から20日(金)までの3日間で修学旅行を、1・2年生は19日(木)に体験学習を予定しています。こちらも充実した活動になるよう期待しています。



力の限りを尽くして熾烈なレースに挑んだ男女駅伝メンバー。充実感で満面の笑みがこぼれています。

様々な場面で、持てる力を発揮するために

己を知り、学力のさらなる向上を…

今年4月に3年生を対象に実施された「全国学力・学習状況調査」の結果が明らかになりましたので、お知らせします。全国や県の欄にある数値は、平均正答率を%で示しています。また、本校の欄にある文章表記は、いずれも全国平均と本校生徒の状況を比較し、端的に示しています。教科全体で見ると、国語・数学とも全国の平均正答率と比較しても本校生徒は遜色ない成果を上げているのが分かります。

また、県の平均正答率と比較すると本校は国語・数学とも2～3ポイント上回っています。詳細な調査結果は、本人にも渡しましたので、自分の”強み”と”弱み”をしっかりと分析するとともに、授業と家庭学習を連動した取り組みを心がけてほしいと思います。学校においては、さらなる学力の維持・向上を促すため、次の4点について重点的に取り組んでいきます。

領域 \ 現3年生【国語】	全国	県	本校
教科全体	58.1	57.0	やや上回る
話すこと・聞くこと	58.8	57.5	下回る
書くこと	65.3	64.6	大きく上回る
読むこと	47.9	47.4	ほぼ同じ
言葉の特徴や使い方に関すること	59.2	58.4	大きく上回る
情報の扱い方に関すること	59.6	58.4	ほぼ同じ
我が国の言語文化に関すること	75.6	76.2	下回る

領域 \ 現3年生【数学】	全国	県	本校
教科全体	52.5	48.0	やや下回る
数と式	51.1	46.1	やや下回る
図形	40.3	36.3	やや下回る
関数	60.7	58.2	下回る
データの活用	55.5	50.4	下回る

- (1) 特別活動をキャリア教育の要として学校教育活動全体を通して推進し、生徒に学校で学ぶことと社会との接続を意識させ、社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる資質・能力の育成を図る。
また、学校行事においては、多様な体験活動を取り入れるなど、生徒の主体性が発揮される場を意図的に設定する。
- (2) 幼・小・中連携及び地域との連携・協力体制を強化し、地域のよさや教育素材を生かした教育活動の展開を推進するとともに、活動を通じて得た学びの成果を発表する機会をもち、自己有用感や達成感を感じていくようにする。
- (3) 「対話型授業」を通して、学んだ成果を実感できる授業の工夫を実践し、「確かな学力の定着」を図るとともに、TT指導など、「個に応じた指導」にも配慮した指導体制を整備する。
- (4) ICTの活用については、各教科の特性に応じた効果的な活用の在り方について研究を重ね、ひとつひとつの実践を通して、その成果と課題を検証しながら、「主体的・対話的で深い学び」へつなげられるようにする。

さらに、本調査では生徒の学力を支える基盤づくりについても触れられています。それによると、本校生徒は平日でも家庭で2時間以上学習している生徒の割合が高く、家庭学習の習慣が身に付いてきているとの結果が得られています。また、授業の中でPC・タブレットなどのICT機器を使用している頻度が高いとの結果も出ています。

一方、「話し合う活動を通じて自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすること」や「自分の考えや意見を分かりやすく伝えること」が本校生徒の課題であるとの指摘もあります。今後は、本校の好ましい傾向をさらに伸ばすとともに課題となっている点の改善に向け、総力を挙げて取り組んでいきたいと思ひます。

【教育目標】

健康でたくましく生きる生徒
自ら進んで学習する生徒
思いやりをもち奉仕する生徒



QRコードを読み取ると本校ホームページにつながります。

〒971-8127
福島県いわき市小名浜玉川町西24番地
TEL 0246-58-6711 FAX 0246-58-6712
E-mail tamagawa-jh@city.iwaki.lg.jp